|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施設長 | サビ管 | 世話人 | 世話人 |
| 　　 |  |  |  |

議事録（スタッフ会議）・第2回

2021年5月18日（火）

15：00～16：40

参加者：田中施設長、芳賀サビ管、江畑、丸山

1. 儀間さん　個人支援計画について

5/13　儀間さんのアセスメントを芳賀さんが行う

5/17　支援計画書を作成し、本人と話し合いを行った。

儀間さん自身の自己評価と見解

・現在、リハビリ以外でも自分で運動ができていると思っている（部屋のなかでも歩いていると本人）

・お酒は自分の「楽しみ」としており、血液検査の数値が悪かった事に対して認識はしていてもやめる気がない。

・自分なりに頑張っているし、自分の考えで運動はしている。無理はするつもりはない。（あまり色々と言われたくないとの事）

・今の調子でいけば10月末にはしんごうの周囲を歩けるようになると思っている。

本人に対して職員からの見解

・明らかに、昨年度の入居時より筋肉量と体力低下

が見られている。

・血液検査の結果も半年前の数値に戻り、肝機能の低下が心配されている（飲酒量の増加）。

・日中活動以外は部屋の中にいて、運動量が少なくなっている。

・これまでと変わらない生活と運動量では次回のモニタリングの際にはさらに体力が低下していると予想。儀間さんの体調をいつも心配し、改善案を提案し続けていたが、本人はそれを疎ましく思い、すべて聞き流されている状況。

　そのため、今回の支援計画では本人の希望を尊重し本人の考えた方法による運動での体力保持を目指す内容とした。

今後の職員からの支援

・今後は「見守り」を主とした支援にはなるが、本人とコミュニケーションをとる会話などの際には、暑さ寒さの影響を受けずに安定した歩行ができるよう適宜声掛け等行っていく。

目標が達成されなければ「今までなぜ歩けるようになるための行動を起こさなかったのか」という気付きを得て、これから儀間さん自身がする事を考えられるようになれば良い。

半年後のモニタリングの際には、どの程度体力が回復できたか確認する。回復できていれば良いができていない、もしくは現在よりも低下などの状況があった場合には本人が何かしらの気づきを得るきっかけを作れればいいが…。

1. 業務内容の確認
	1. 掃除してほしいところ

・水回りと玄関の掃除

時間があったら、シンクなど細かいところを掃除していく

・側溝の草除去

・料理後は油のはねがあるので、ＩＨの前にある壁を拭く

・冷蔵庫の上（すぐに埃がたまるので、拭くようにする）

* 1. 冷蔵庫のなかの管理

・余った野菜等、食材は使用するようにする

・常に中がきれいな状態であるように管理をしていく

・使っていい物なのかわかりやすくする。

　　　　　　・食材を無駄にしない取り組みをしていく

　　　　　　　→どのように無駄にせずにすむか世話人でアイデアを出していく

* 1. その他

・オレンジのキッチンゴミ袋→今後は使い切ったあと購入なし。サンコー食品の余った袋をごみ入れにする。

・土日の昼食→野中さんも昼食を食べるので頼む事になった（一応儀間さんにも聞く）

（サビ管より）

　世話人さんのお仕事は、食事作り、ケース記録、相談受付だけではありません。環境を整えることも大切なことです。手が空いた時間に自分は何が今できるかということを考えでお仕事にあたりましょう。もうしんごうが開所して1年が経ちました。仕事も慣れてきたと思います。

　最初は慣れない事を覚えるまでゆっくり確実にマニュアルに沿った内容をこなして頂ければ良いと思いますが、業務が滞りなくできるようになったら、自らほかにできることはないかなと探して業務にあたって頂けると良いと思います。そこでてっとり早いのが掃除かなと思い今回提案しました。私が会議中にあげたところはほんの一部です。これをきっかけに、皆で何ができるのか考える習慣を持つようにしましょう。一人一人の意識をかえることで今よりももっとよいしんごうにしていけたら良いと思います。

　また、今回の提案は現在の利用者が2名という状況もみてしたものです。利用者さんが満員で日々の業務で手一杯という時にはそこまで求めようと思っていません（できるに越したことはないのですが）。

状況に応じて臨機応変に対応して頂きたいと思います。